

宮本常一・旅の足跡 4

昭和33年～39年（二九八～六四）

51～56歳

離島と生活改善の旅

膨大な著作の中から瀬戸内海に関するものを拾い出してみると、12冊の単行本がある。こまかく拾えばまだあるし、論文や紀行文の類を加えるといくらかになるか見当もつかない。

瀬戸内はまさに身近かなものであり、瀬戸内の人びととの交流は広く、そして深かった。ふるさとの「海の生活誌」から出発したといってよい宮本学の行きつく先は「海からみた日本」であった。そしてその海の中心は瀬戸内内であればならなかった。

（参考・同時代の証言）

東京・浜澤邸	
②1 昭和37・8	55 五島列島調査
②0 昭和37・8	55 五島列島調査
①9 昭和37・6	54 五島列島調査
①8 昭和36・9	54 五島列島調査
①7 昭和36・8	54 五島列島調査
①6 昭和36・8	54 五島列島調査
①5 昭和36・8	54 五島列島調査
①4 昭和36・5	53 五島列島調査
①3 昭和36・4	53 五島列島調査
①2 昭和35・11	53 五島列島調査
①1 昭和35・10	53 五島列島調査
①0 昭和35・8	53 五島列島調査
⑨ 昭和35・8	53 五島列島調査
⑧ 昭和35・8	52 五島列島調査
⑦ 昭和34・11	52 五島列島調査
⑥ 昭和34・8	52 五島列島調査
⑤ 昭和34・7	51 五島列島調査
④ 昭和34・6	51 五島列島調査
③ 昭和33・10	50 五島列島調査
② 昭和33・7	50 五島列島調査
① 昭和33・7	50 五島列島調査

東京都中市（家を購入）	
④2 昭和40・1	57 新潟県佐渡
④1 昭和39・10	57 佐賀・大分調査
④0 昭和39・8	57 佐渡赤泊村他
③9 昭和39・8	57 北海道離島調査
③8 昭和39・7	56 茨城県土浦
③7 昭和39・6	56 下北半島
③6 昭和39・6	56 佐渡赤泊村
③5 昭和39・5	56 佐渡実態調査
③4 昭和39・5	56 五島列島調査
③3 昭和39・3	56 鹿兒島・雲仙調査
③2 昭和38・12	56 新潟県佐渡
③1 昭和38・11	56 新潟県佐渡
③0 昭和38・8	56 長崎県対馬調査
②9 昭和38・7	56 長崎県対馬調査
②8 昭和38・7	55 新潟県佐渡
②7 昭和37・11	55 下北半島調査
②6 昭和37・11	55 東京都新島調査
②5 昭和37・10	55 東京都新島調査
②4 昭和37・9	55 熊本・大分離島調査
②3 昭和37・8	55 熊本・大分離島調査
②2 昭和37・8	55 熊本・大分離島調査
②1 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
②0 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
①9 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
①8 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
①7 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
①6 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
①5 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
①4 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
①3 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
①2 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
①1 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
①0 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
⑨ 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
⑧ 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
⑦ 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
⑥ 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
⑤ 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
④ 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
③ 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
② 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査
① 昭和37・7	55 熊本・大分離島調査

- 凡例
- 調査・講演など旅した地点
 - 上記で特定できない地点
 - 旅の経路
 - 長距離移動及び中継地が不明な経路
 - (2) 3 その地点を訪れた回数
 - さらに詳細な調査地点数
 - 都道府県名や市町村名以外の記載がないところ
 - 調査・講演の年月 (丸数字は年表と符号)

